

研究フォーラム① 8/7 (金) 17:00~19:00

新しい治療法の開発に貢献する基礎研究

大栗 敬幸

旭川医科大学医学部病理学講座免疫病理分野・准教授

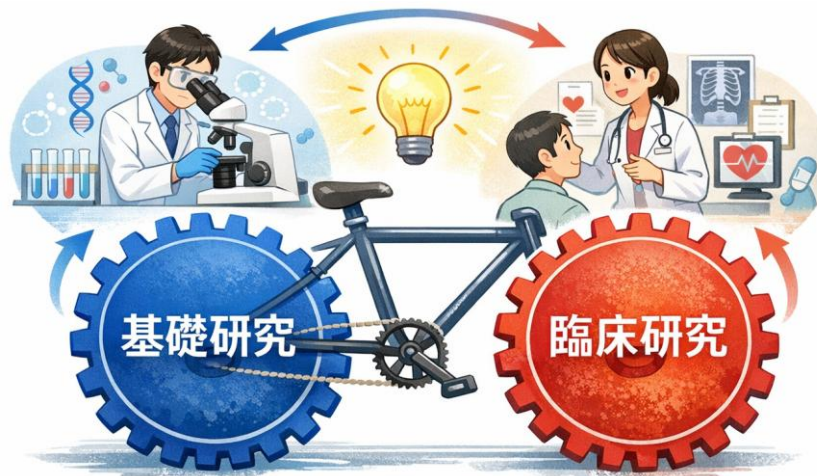


講演内容(伝えたいこと)

現在の医療では治せない病気がまだまだたくさん残されています。新しい治療法を開発するには、対象の病気がどのように生じるかを網羅的に調べるような基礎的解析を進める必要があります。

そして、基礎研究で得られた実験結果が、実際の患者さんの状態に矛盾していないことを確認するために、患者さんから採取された細胞や組織標本を用いて検証する必要があります。

つまり、新しい治療法を開発するには、基礎研究と臨床研究が両輪となって進んでいくことが重要です。本講演では、基礎研究の面白さ、臨床研究への橋渡しの重要性、基礎研究者へのキャリアパスについて、演者の経験を踏まえてお話しできればと思っています。



研究テーマ

マクロファージを軸としたSTINGリガンドと抗CD47抗体を用いた画期的がん免疫療法の開発研究 (2016年度)

概要

免疫細胞が異物を除去する機能を利用して、がん細胞を除去する治療法を開発することを目指しています。がん細胞は自身の細胞ですが、正常細胞とは異なるタンパク質を発現していることがあります。免疫細胞はそれを目印にしてがん細胞を特定し除去することができます。ウイルスや細菌に対する免疫反応の仕組みを利用して、効果的に免疫細胞を活性化させる方法を調べています。

PROFILE

https://hyouka04.asahikawa-med.ac.jp/html/100000548_ja.html